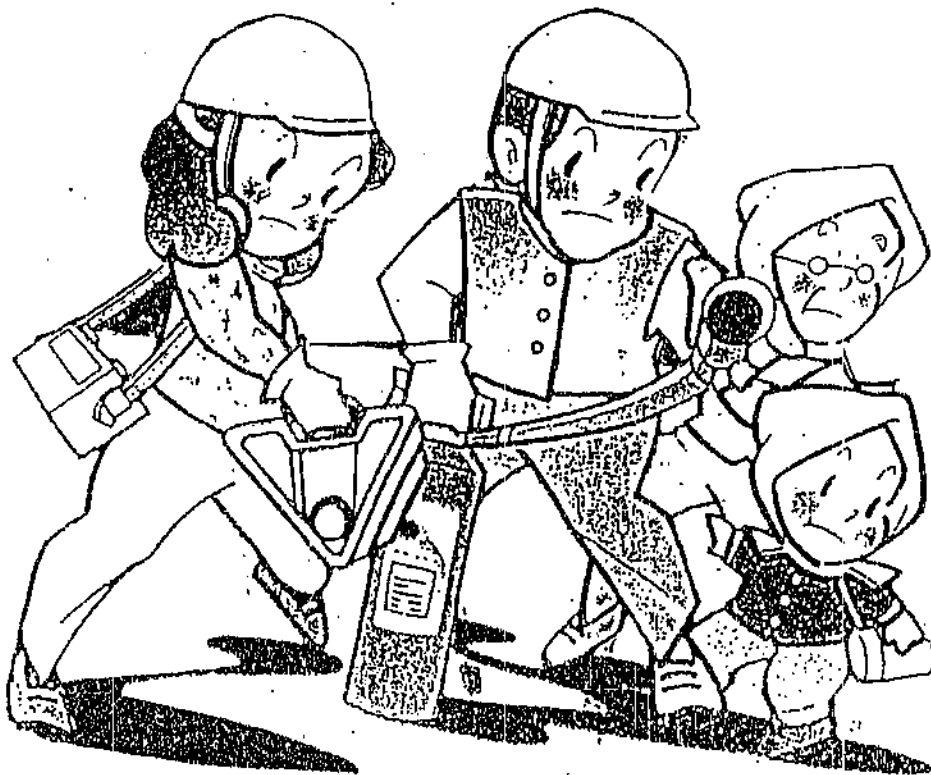


自主防災組織のしおり



習志野市防災課

自主防災組織をつくろう！

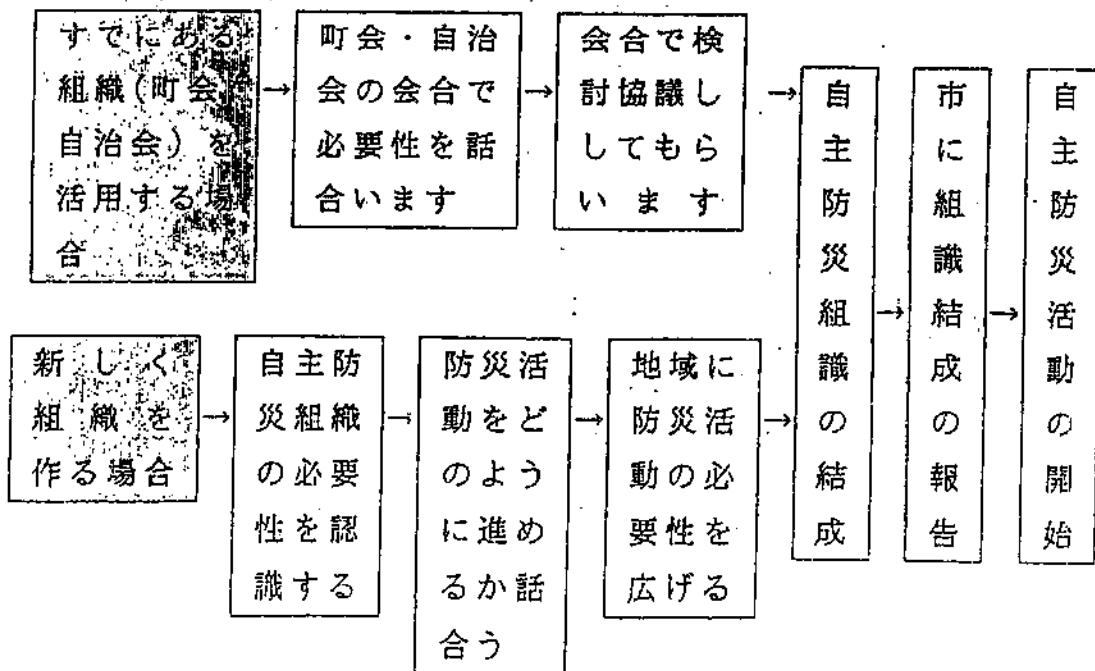
いざ災害が発生したとき、市や消防機関及び防災関係機関は全力をあげて復旧活動を行います。活動能力が著しく低下する事が予想されます。この様な時、地域に住む皆様が協力し出火防止、初期消火、被災者の救護、避難誘導等を行うことが必要となります。

これらの防災活動を行うに当たり各自で行動しては其の効果が発揮できません。

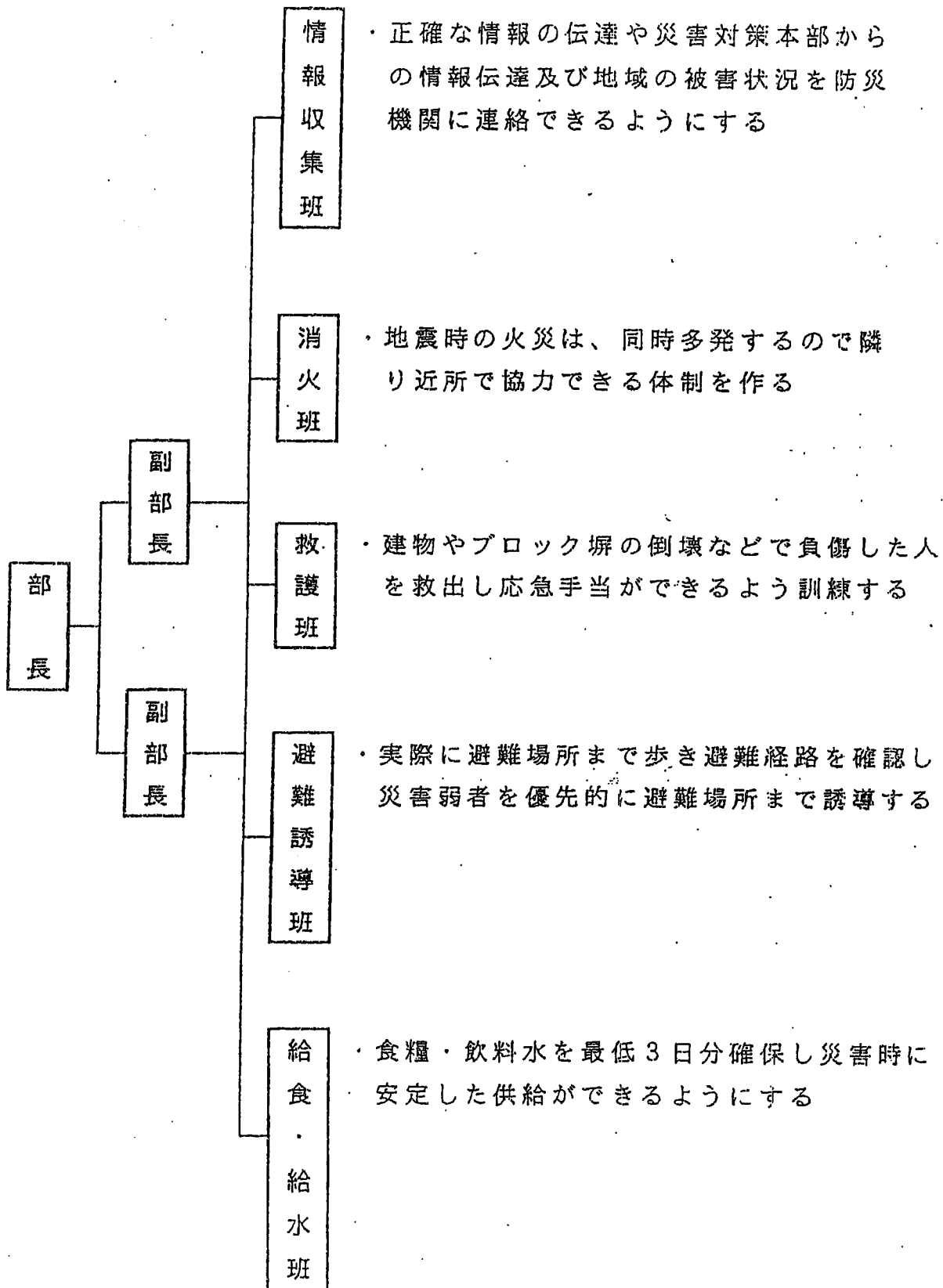
地域ぐるみで組織的に行動することにより効果が最大限に発揮できるものです。

又、地域住民により地域の実態に合った自主的な組織を作り自主防災組織をより身近な地域活動の一環として位置づけそこで暮らしている皆様が協力し合い活動することにより被害を最小限に食い止めることができるものと考えております。

組織づくりの手順



自主防災組織編成参考図



自主防災組織の活動

日常の活動……いざという時、効果的に活動ができるには、日頃防災に対する正しい知識を持っているかどうかにかかります。

1. ミニコミ紙やパンフレットの配布
2. 地域内の危険箇所の調査（避難時に）
3. 防災カルテや防災マップの作成
4. 各家庭の消火器や三角バケツ等の整備・点検
5. 防災訓練の実施
 - ・ 消火訓練
 - ・ 避難訓練
 - ・ 救出・救護訓練
 - ・ 情報の収集・伝達訓練

非常時の活動……自主防災組織が果たす役割は非常に重要です。

1. 初期消火
2. 住民の避難誘導
3. 負傷者の救出・救護
4. 情報収集・伝達
5. 給食・給水

これらの活動を行うために

防災資機材の整備

地域の実情に応じた資機材を日頃から準備しておきましょう。

NO	用途	防災資機材名
1	情報連絡用	電池メガホン、携帯用無線機、ラジオ、トランシーバー
2	初期消火用	消火器、砂袋、街頭用消火器、消火栓ホース、防火衣、ヘルメット、三角バケツ
3	水防用	防水シート、シャベル、ツルハシ、スコップ、ロープ、かけや、くい、土のう、
4	救出・救護活動用	パール、ハンゴ、ノコギリ、スコップ、なた、ジャッキ、ペンチ、ハンマー、ロープ、チェーンソー、ヘルメット、エンジンカッター 担架、救急セット、テント、毛布、シート
6	避難用	強力ライト、標旗、ロープ、メガホン、笛
7	給食給水用	釜、鍋、カセットコンロ、給水タンク、ガスボンベ

未結成の町会・自治会は、1日も早く自主防災組織を結成されますようお願いいたします。

問い合わせ 総務部 防災課 ☎(51)-1151 (内線) 245・345

災害発生時における 市役所からの情報伝達

